

中央地域包括支援センターだより 9月号



ケアカフェで 交流を深めました

花巻中央地域包括支援センターでは、介護サービス事業所の職員の方々との情報交換や交流の場としてケアカフェを開催しています。

平成27年度第2回のケアカフェは、リハビリ特化型デイサービス「リハニック」を会場に8月21日(金)開催いたしました。

当日は、13カ所の介護サービス事業所等職員の方々の参加があり、リハニック花巻の担当者からリハビリ体操、レッドコード、足岩盤浴、メドマー、シナプソロジーの体験することができました。



レッドコードによるリハビリ体験

今回のケアカフェについては、前回参加者からリハニック花巻で実際体験したいとの要望により開催しました。「実際体験してみても良かった」「リハビリ体操等とても参考になった」と感想が寄せられました。

次回は、10月に開催予定です。



ジャンケンで頭の体操



玉川温泉と同じ効果のある足岩盤浴

アルツハイマー型認知症早期発見の第一歩に 「物忘れ相談プログラム」を活用してみませんか



花巻市では、認知症施策等総合推進事業の一環として、花巻市役所新館1階にアルツハイマー型認知症早期発見の第一歩として、「物忘れ相談プログラム」を設置いたしました。

「物忘れ相談プログラム」は、鳥取大学医学部の浦上克哉教授が発明したもので、アルツハイマー型認知症を見つけるのに最も重要な質問を用いた簡単なスクリーニングテストプログラムです。

簡単な5つのテスト項目に答えるもので、テスト時間はプリントアウトを含め約5分です。

早期発見のメリットとして①治療可能な認知症を見つけることができます。②認知症のタイプや原因を見極め、早期に治療を開始することで進行を遅らせたり症状を緩和できる可能性等があります。

ご利用希望の方は、中央地域包括支援センター(市役所新館1階)内の認知症地域支援推進員までお気軽にお声をおかけ下さい。